



# エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

平成20年6月24日

環境大臣 鴨下一郎 殿

ライオン株式会社  
代表取締役社長

藤重貞慶

ライオングループは、新快適生活の創出をめざす消費財メーカーとして、お客様の満足と環境への配慮を最優先課題ととらえ、商品を通じた環境配慮を中心に以下の取り組みを進めてまいります。

## 1.地球温暖化防止に向けた取り組みを積極的に推進します

- ① 事業活動からのCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいきます
  - ◆ ポスト京都議定書のCO<sub>2</sub>削減目標として、2020年までに事業活動（製造部門、事務営業部門、研究部門）に伴うCO<sub>2</sub>排出量を1990年比40%削減します。（2012年：20%削減）
  - ◆ 同業メーカーとの共同配送やモーダルシフトの推進などにより、エネルギー消費原単位を年平均1%ずつ削減して物流部門でのCO<sub>2</sub>排出削減にも努め、特定荷主としての責任を果たしていきます。
- ② ご家庭で商品を使用した後に排出されるCO<sub>2</sub>量の削減にも積極的に取り組んでいきます
  - ◆ 洗剤などの原料を、持続可能な調達に配慮しつつカーボンニュートラルな植物起源の原料へと転換を進め、商品をご家庭でお使いいただいた後に排出されるCO<sub>2</sub>量の削減にも努めます。
  - ◆ 事業活動から排出されるCO<sub>2</sub>と商品使用後に排出されるCO<sub>2</sub>を併せたCO<sub>2</sub>排出量を2020年に1990年比で67%削減します。（2012年：半減）

## 2.循環型社会の形成に向けた取り組みを積極的に推進します

- ◆ 容器・包装の軽量・コンパクト化やつめかえ・つけかえ用商品の拡充および再生材料の積極的活用に努め、プラスチック、紙、ガラスなど容器・包装材料の3R（Reduce:使用量削減、Reuse:再利用、Recycle:再資源化）をいっそう推進します。
- ◆ 容器・包装へのプラスチック使用量（家庭品主要8分野の製品出荷量あたりのプラスチック使用量）を2009年に1995年比70%以下にします。
- ◆ 事業活動全般での廃棄物の削減・リサイクルにも心がけ、2009年の廃棄物総発生量を1990年比60%以下に、またリサイクルに回らなかった最終処分量を10%以下にします。

## 3.化学物質の安全性点検やリスクコミュニケーションを積極的に推進します

- ◆ 日本における官民連携「Japanチャレンジプログラム」をはじめ世界の化学物質安全性点検のためのプログラムに積極的に参画し、化学物質の安全性情報の収集と情報発信を進めます。
- ◆ 化学物質の適正な管理と排出削減にかかわる取り組みについて広く社会に発信するとともに、事業所周辺の住民の皆様などとの対話を進めながら、リスクコミュニケーションの推進に努めます。

ライオングループは、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果について環境省への報告ならびにCSR報告書などによる公表を行ってまいります。

おはようからおやすみまで  
くらしに夢をひろげる

LION